

令和8年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 12		学校名	茨城県立勝田特別支援学校								学校長名	友部 道夫				
教頭名	山本 憲資				教頭名	佐藤 まゆみ				事務（室）長名	金子 泰章						
教職員数	教 諭	116	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	15	非 常 勤 師	3	実 習 助 手	2	寄 宿 舎 指 導 員	事務職員	3	技 術 職 員 等	12	計	157
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		小計		合計	合計 学級数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	幼稚部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小学部	11	4	25	5	23	6	15	8	9	5	13	9	96	37	133	35
	中学部	15	5	11	8	8	5	—	—	—	—	—	—	34	18	52	14
	高等部	17	8	14	9	20	7	—	—	—	—	—	—	51	24	75	17
	専攻科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
														181	79	260	66

2 目指す学校像

- ◆安全・安心で笑顔あふれる学校
- ◆一人一人の学びを大切にする学校
- ◆地域のよさを大切にする学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒からの相談への即時対応等、児童生徒支援による安心できる教育環境づくりに努めている。児童生徒による授業評価から、約94%の児童生徒が「学校は安心できる場所」と感じている。 ・定時退勤日の設定や面談期間中の短縮日課などを実施し、全教職員（100%）が勤務時間外在校時間月45時間以内、年間360時間以内を遵守できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校地域連携体制構築事業を効果的に展開できるよう、校内及び関係機関との連携体制づくりが必要である。 ・教職員コンプライアンス推進計画に基づき、個々の教職員がコンプライアンス意識を醸成できる取組を推進していく。

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究における研究協議や専門家による講演等をとおして、主体的な学びを促す授業づくりを推進している。 ・学校運営協議会制度に基づき、各部において地域の特色をいかした授業を実施、地域との連携を深め、キャリア教育の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家との連携等により校内研究を充実させ、主体的な学びを促す授業実践研究をより推進する。 ・学校運営協議会制度をより効果的に運営し、日々の学習活動に活かすことのできる校内体制の構築が必要である。
------	--	---

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 安心して学習や生活ができる安全な教育環境づくりに努める。 2 一人一人の主体的な学びを促す授業づくりを推進する。 3 地域との確かな連携によるキャリア教育を推進する。 4 地域の特別支援教育のセンター的機能を推進し、地域の特別支援教育の充実に寄与する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
①一人一人にとって安全・安心な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して学習や生活できる安全な教育環境づくり（食育・健康教育の推進、防犯・防災体制の充実） ・道徳の授業を中心とした豊かな心の育成、関係機関と連携した児童生徒支援体制の強化（児童生徒支援に関する情報共有等）
②一人一人の主体的な学びを促す授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを促す授業実践研究の推進（専門家との連携等による授業実践研究の推進） ・生活に結び付く確かな学力の定着を図る学習指導・支援の充実（適切な学習評価、ICT活用）
③地域との確かな連携によるキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生活に必要な社会生活能力の着実な育成（キャリア教育全体計画、社会生活能力検査等の活用） ・地域の特色をいかした教育活動と交流及び共同学習の推進（コミュニティー・スクール）
④センター的機能をいかした地域の特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会や学校・園等との連携強化による特別支援教育巡回相談の充実 ・学校公開等による特別支援教育に関する積極的な情報発信（県地域連携体制構築事業等）
⑤教職員一人一人のコンプライアンス確保に向けた取組と「働きがい」「生きがい」を保障するための働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員コンプライアンス推進計画に基づく風通しのよい職場環境づくり、コンプライアンス意識の醸成（定期的・継続的な教職員コンプライアンス実践研修、コンプライアンスアンケート結果の分析等） ・会議時間の短縮や学校行事の見直し等による時間外勤務の削減と児童生徒の指導・支援に係る時間の創出（学校運営協議会や学校評価等を活用した学校経営・運営の適切な評価、学校経営方針の見直し・改善等）